

Mortar Panel guide

内装用モルタル仕上不燃化粧パネル
モルタルパネル ガイド

はじめに	01
お知らせ	01
保証について	01
製品について	02
製品についての注意事項	02
施工上の注意	03
施工	03 - 04
清掃方法	04
オプション	04

はじめに

この度は弊社製品をご購入頂きまして有り難うございます。
施工・ご使用に際しまして本製品についての仕様・注意事項と施工ガイドを本ガイドに記載致しましたので
設計・施工会社様並びにお施主様もご一読頂けますようお願い致します。

お知らせ

- 本製品の仕様・意匠・価格は品質改良や物価変動により予告なく変更することがあります。
- 追加のご注文時は自然素材の為、ロット差による色違いが生じる場合がございます。

保証について

- 製品の到着後、数量・仕様・破損を必ず御確認下さい、万一損傷又は著しい変形や変質がある場合には直ぐに御連絡下さい。
※必ず施工前にご連絡下さい。
- ご連絡の際は必ず画像を撮って送って下さい。
- 施工後の保証は一切致しかねますので必ず施工前にご確認下さい。
- 保証対象の製品に関しましては返金・再製作のいずれかの対応をさせていただきます。
- 保証対応は著しい損傷又は不備のあった製品のみとなります。ロット差により生じる色違い・バラツキ・若干の欠け等は
対応しかねますので御了承下さい。（特に角面は欠け易い商品ですので予めご了承下さい）
以下の場合には保証致しかねますので御了承下さい。
- ◆施工後に生じた不具合。
- ◆納品後の移動・輸送・不適切な取り扱いや不注意により生じた破損・損傷。
- ◆天変地異(地震・火災・水害等)や特殊環境などによる変形・損傷。

About Products / 製品について

仕様 モルタルパネルはケイ酸カルシウム板を基材にモルタル仕上げを施した自然素材を使用した内装用化粧板です。

製品名	内装用化粧パネル【モルタルパネル】
用途	商業施設・住宅等の屋内壁の内装仕上げ
規格寸法 /販売単位	10*220*1820 / 4枚入り (1.60 m ²) ※1
製品重量	約 11.5 kg / 1 m ² 辺り
ホルムアルデヒド	告示対象外
不燃性	不燃材料 ※2
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○容易に乾式施工にてモルタル仕上げが施工可能です。 ○自然素材のケイ酸カルシウム板とモルタルのみを使用しています。 ○寸法安定性に優れています。 ○アスベストを無含有、接着剤不使用の F★規制対象外製品です。

※1：寸法は ±2 程度の誤差が生じる場合があります。

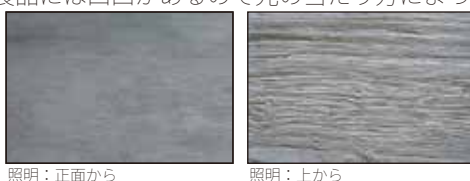
※2：本製品[モルタルパネル]は国土交通省により不燃材料として定められた(建築基準法第二条第9号・建設省告示1400号)【厚さ五ミリ以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板】と【モルタル】のみで作られた製品なので不燃材料として内装制限のある場所にもご使用頂けます。
個別での不燃認定番号は不要な為、取得しておりません。

製品についての注意事項

- 落下、接触、強い衝撃、不適切な持ち運び等により破損する場合がありますので慎重なお取り扱いをお願い致します。
- 本製品は屋内用です。屋内でも浴室等、常に水や湿度の影響を受ける場所でのご使用は控えて下さい。
- 基本的に平坦、平滑な壁面にご使用下さい。天井・床でのご使用は控えて下さい。
- パネルを持ち運ぶ際は、必ずパネルがたわまないように長手方向を垂直に立てて慎重に持って下さい。たわめると破損します。
- 製品は無塗装品ですので水や汚れが懸念される場所では保護塗料を塗るなどの対応をして下さい。
- 製品の性質上、下画像のような白華・色むら・割れ・欠け・ヒビ等が生じる場合がございます。※特に角面は欠け易いので予めご了承下さい。



- 製品には凹凸があるので光の当たり方によって見え方や印象が変わります。



デザインの凹凸に対して陰影が出来るやすい角度で照明を当てたり、パネルの貼る向きをご考慮頂けますとより印象的にデザインが浮かび上がります。

- パネルの角面は脆く欠け易いのでコーナーや柱等、触れる場所や人・物が当たる場所には市販の見切り材を使用して下さい

Construction guide / 施工ガイド

本ガイドを施工前に必ずお読みください

施工上の注意

- 取付面は不陸のないようにして下さい。
- コンクリート面等の湿気を帯びた下地への直貼りは避け、平坦な合板（含水率20%以下）・石膏ボード等の十分乾燥した面に施工して下さい。
- 製品の幅・長さ・厚みはバラツキが生じますので1~2mm程度の間隙（空目地）を空けて施工して下さい。
- パネルがたわまないように長手方向を垂直に立てて慎重に持って下さい。たわませると破損します。
- 切断等加工する際は必ず保護メガネ・防塵マスク・手袋・長袖を着用し集塵装置を使用して下さい。
- パネルの表面は施工するまで必ず養生をして下さい。擦れると白くなります。

施工

- ①墨出し**：割付図に従い墨出しを行って下さい。パネル間・壁際は1~2mm程度の間隙（空目地）を空けて下さい。
- ②仮並べ**：商品は個体差やロットにより色幅が生じる場合がありますので仮並べして偏りが無いようにして下さい。
- ③仮留め**：下地の種類に合わせて留め付け方法を選択して下さい。

下地種類	石膏ボード	合板	推奨接着剤 (変性シリコーン樹脂系接着剤)	コニシ (株) /MPX-1 アイカ工業 (株) /GS-330
留め付け方法	両面テープ + 接着剤	ピンネイル + 接着剤 又は 両面テープ + 接着剤	推奨両面テープ	コニシ (株) /TMテープW1 アイカ工業 (株) /ZA-38

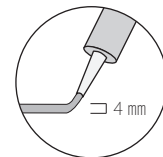
※合板の下地に両面テープ+接着剤で留める場合は合板側をプライマー処理してから留めて下さい。

両面テープ貼付け時の注意点

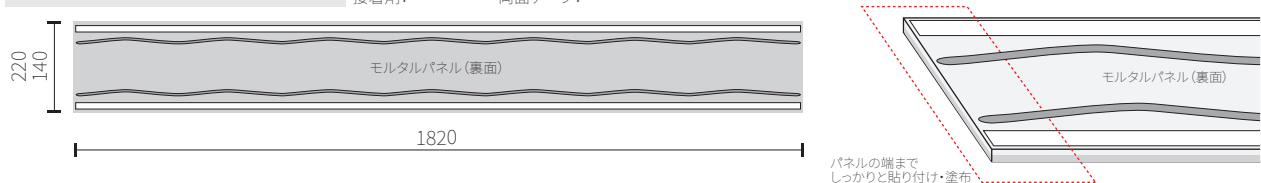
- ◆両面テープは両端に端から端まで貼り、しっかりとパネル裏面に圧着して下さい。
- ◆一度剥がれた両面テープは再使用しないで下さい。

接着剤塗布時の注意点

- ◆パネル裏面に弾性接着剤を端から端まで塗布して下さい。
- ◆接着剤は高さ4mm程度で塗布して下さい。塗布量が少ないと剥がれの原因となります。
- ◆接着剤塗布後10分以内に壁に貼り付け圧着して下さい。
- ◆気温が5℃以下の場合は施工しないで下さい。



標準貼り付け・塗布パターン



- ④貼付・圧着**：パネルを壁面に貼り付けて圧着して下さい。

パネル貼付け 圧着時の注意点

- ◆パネルはたわまないように注意しながら2人以上で取り付けて下さい。
- ◆パネルを貼り付ける際に、中央部に浮きが出ないようにして下さい。
- ◆両面テープは一度接着すると調整が出来なくなります。（両面テープ使用の場合）
- ◆両面テープの部分をしっかりと押さえて圧着して下さい。（両面テープ使用の場合）
- ◆パネル間・壁際は1mm程度の間隙（空目地）を空けて下さい。

- ⑤仮留（下地：合板/ピンネイル+接着剤で留め付ける場合）**：ピンネイルで仮留めして下さい。

ピンネイル仮留め時の注意点

- ◆パネルの端から20mm以上離して留めて下さい。（端に近過ぎるとパネルが破損する場合があります。）



Mortar Panel guide

施工

⑥切断&切欠き切断：電動丸ノコ（サイディング用刃）・ダイヤモンドカッター・スレート鋸等を使用して切断して下さい。

切断時の注意点

- ◆必ず保護メガネ・防塵マスク・手袋・長袖を着用し集塵装置を使用して下さい。
- ◆丸ノコでの切断時は養生（スタイロフォーム等）を敷きパネル表面を下にしてカットして下さい。

留め加工する場合

- ◆基本的にはお勧めはしていませんが欠けが生じるのをご了承頂いた上で行って頂く事は可能です。
- ◆養生をしてパネル表面を下にして電動丸ノコ（サイディング用刃）でカットして下さい。
- ◆留め加工部分はかなり脆くなりますので触ったり物が当たる場所では使用しないで下さい。



⑦養生：接着剤が完全に硬化するまで力がかからないようにして下さい。

◆補修：専用の補修材はございませんので市販の補修用パテ材・コーキング材等で埋めて下さい。

清掃方法

- 日常の清掃はハタキ、ハンディモップ、乾いた布で優しく乾拭きして下さい。
- 付着した汚れの場合は、必ず固く絞った濡れ布などで軽く拭き取るようにして下さい。
※強く擦ったり、水分を含んだ物を使用する事は避けて下さい。
- どうしても落ちない汚れがついてしまった場合は厚めのスクレーパー等で少しずつ削り取って下さい。
※ヤスリ等で擦ると白くなります。(モルタルグレーの場合。ナチュラルホワイトはヤスリ等で削っても目立ちません)

Option / オプション ※納品後のご注文は承れません。

小口塗装 パネルの小口が見える収まりの際は小口を同系色で塗装する事が可能です。



※あくまでも塗装なのでモルタルと同じ色・風合いにはなりませんので予めご了承下さい。(木目や模様等もありません)

モルタルパネル 下地ガイド【軽量鉄骨LGSの場合】

乾式下地壁の最大高さは5mとし、モルタルパネル接着剤張り仕上げ高さは3m以下として下さい

STEP 1 : 下地の選定

- ◆ **せっこうボード** : 厚み9.5mm以上
- ◆ **ケイ酸カルシウム板** (ケイカル板) : 厚み6mm以上/比重1.0/シーラー処理必要
- ◆ **合板** : 厚み9mm以上/1類以上

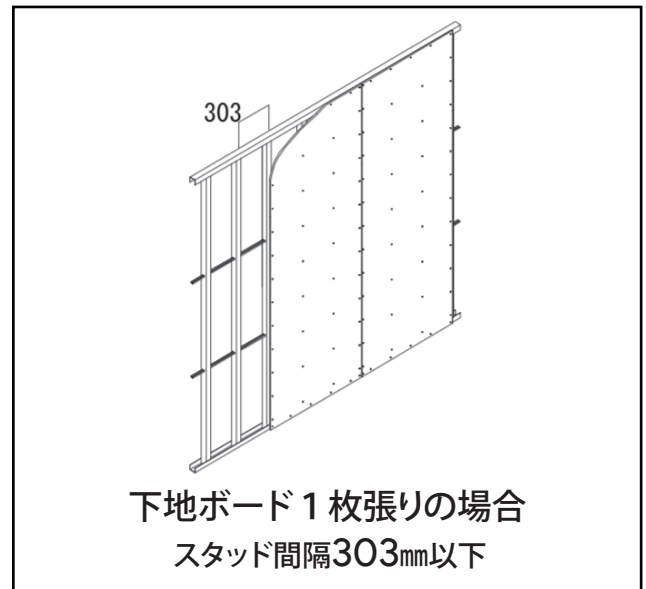
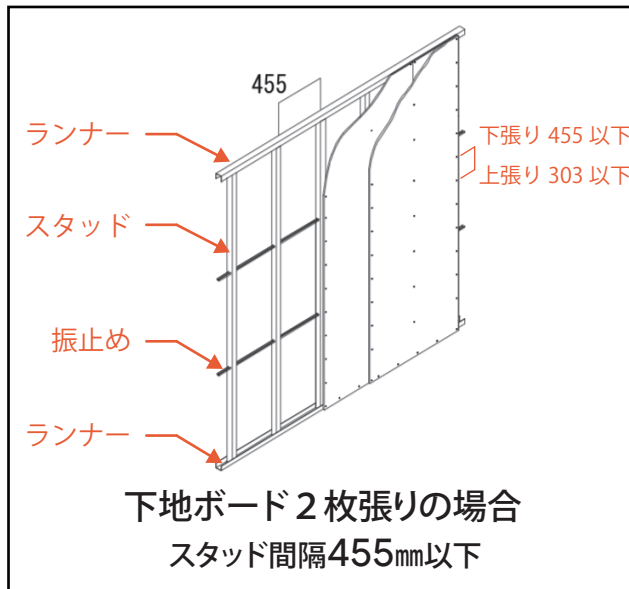
※厚みは下地ボード2枚張りの場合

STEP 2 : 下地の留め付け方法

JIS A 6517 (建築用鋼製下地材) 壁下地材規格

単位 : mm

部 材 種 類	スタッド		ランナー		振れ止め		スタッドの高さ による区分
	記 号	寸 法	記 号	寸 法	記 号	寸 法	
65 形	WS-65	65 × 45 × 0.8	WR-65	67 × 40 × 0.8	WB-25	25 × 10 × 1.2	4m 以下
75 形	WS-75	75 × 45 × 0.8	WR-75	77 × 40 × 0.8			
90 形	WS-90	90 × 45 × 0.8	WR-90	92 × 40 × 0.8			4m を超え 4.5m 以下
100 形	WS-100	100 × 45 × 0.8	WR-100	102 × 40 × 0.8			4.5m を超え 5m 以下



◆ 下地ボードは、

- ①地震時に下地の継ぎ目部分が異なる動きをし、せん断力が生じるので動きを抑えるため
 - ②不陸を起因とする接着不良によるパネルの剥離を防ぐため
- 以上の理由から2枚張りを推奨しています。

パネルを継ぎ目に合わせて割付する場合は1枚張りでも構いません。その場合、各下地の厚みは厚くして下さい。